

今年の見どころをご紹介 「ARTISTS' FAIR KYOTO 2026」

メイン会場：2026年2月21日(土)～2月23日(月・祝)

AFK Resonance Exhibition会場：2026年2月21日(土)～3月1日(日)



歴史と伝統が息づく京都を舞台に開催される、アーティスト主導のアートフェア「ARTISTS' FAIR KYOTO 2026 (アーティスト フェア キョウト)」(略称：AFK2026)。本フェアは、次世代のアーティストが世界へ羽ばたくためのきっかけづくりとして、また来場者とアーティストが直接対話する新しいスタイルの場として、今年で9回目の開催を迎えます。「Singularity of Art (シンギュラリティ・オブ・アート)」をテーマに掲げ、従来のアートフェアの枠組みにとどまらない、新たなアートシステムの創造を継続的に推進してきました。メイン会場となる京都国立博物館 明治古都館には、アドバイザーボードによる推薦および公募によって選出された、可能性あふれる若手アーティスト40組が集結。臨済宗大本山 東福寺では、第一線で活躍するディレクター・アドバイザーボード、過去にAFKへ出品したアーティストによる展覧会「AFK Resonance Exhibition」も開催。歴史的空間と現代アートが呼応する展示が広がります。さらに、京都のまちへとひらかれるサテライト展や思考を深めるトークプログラムなど、AFKならではの多層的なプログラムを展開します。それぞれの会場で異なる体験をお楽しみいただけるAFK2026。ここでは、その見どころをご紹介します。

ARTISTS' FAIR KYOTO 2026 見どころ

趣のある京都のユニークヴェニューがアートの展示空間に

メイン会場：京都国立博物館 明治古都館

メイン会場となる京都国立博物館 明治古都館は、1895年竣工、1969年に国の重要文化財に指定された歴史ある建造物です。「宮廷建築家」と呼ばれた片山東熊による設計で、外観はフランス・ルネサンス・バロック様式を特徴とし、正門から続く噴水やオーギュスト・ロダン《考える人》とともに京都の文化的景観を象徴しています。AFKでは、2024年から通常非公開の玄関・中央ホールを展示会場としていましたが、今回、展示室もふんだんに活用するなど使用エリアを拡大し、多彩な表現の交差をお楽しみいただけます。



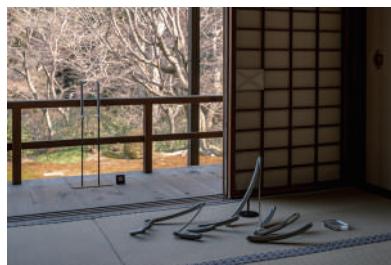
京都国立博物館 明治古都館(中央ホール)2025年の様子



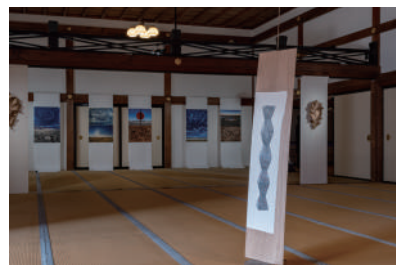
京都国立博物館 明治古都館(玄関ホール)2025年の様子

AFK Resonance Exhibition会場：臨済宗大本山 東福寺

臨済宗大本山 東福寺は、京都五山の一つに数えられる名刹で、近代日本庭園の名匠・重森三玲による方丈庭園「八相の庭」でも知られています。AFK Resonance Exhibitionでは、前回会場となった方丈をはじめ、紅葉の名所・通天橋の周辺庭園、日本画家・堂本印象の蒼龍図が天井を飾る本堂付近、静謐な大慧殿周辺など、東福寺を象徴する屋外空間へ展示エリアを拡張。歴史的空間を舞台に、庭園や建築と呼応するかたちで現代アートを展開します。



臨済宗大本山 東福寺(方丈) 2025年の様子



臨済宗大本山 東福寺(方丈) 2025年の様子

ARTISTS' FAIR KYOTO 2026 見どころ

40組のアーティストが集結！多様なまなざしが重なり合う、次代の表現

第一線で活躍するディレクター・アドバイザーボードによる推薦と、公募選考委員による多角的かつ公正な視点から、次世代の才能を選出。世代やバックグラウンドの異なるアーティストたちが、今まさに更新されつつある表現の現在地を提示します。

■参加アーティスト []内は推薦アーティスト、又は公募選出者

メイン会場(京都国立博物館 明治古都館)：【若手アーティスト40組】會見明也[薄久保香] / 綾野文麿[田村友一郎] / 安藤項司[公募] / イケナナ[ロバート・ブラット] / 伊地知七絵[公募] / 井上息吹[薄久保香] / 彌永ゆり子[公募] / 小笠原周[ヤノベケンジ] / 岡田真由美[津田道子] / 小林太郎[名和晃平] / 酒井千明[加藤泉] / 澤あも愛紅[公募] / 品川美香[公募] / 白石効裁[鬼頭健吾] / 白旗花呼[池田光弘] / 高橋凜[田村友一郎] / チョ・ウニョン[公募] / 辻大輝[笹岡由梨子] / 椿野成身[大庭大介] / Thomas Pepito Vauthier(トマ・ペピト・ヴォティエ)[公募] / 中田愛美里[大巻伸嗣] / ナガタダイスケ[鷹野隆大] / 中西凜[Yotta] / 中谷優希[公募] / 成山亜衣[ミヤケマイ] / 恥カ 9 / まなか[椿昇] / 長谷川翔[公募] / 春田紗良[大庭大介] / 広瀬里美[大巻伸嗣] / 広田郁也[名和晃平] / 堀江たくみ[津田道子] / 真崎茜[ロバート・ブラット] / 松岡日菜子[公募] / 松岡柚杣[鬼頭健吾] / 見島滯佳[笹岡由梨子] / 関麗珊(ミン・リセン)[ミヤケマイ] / 矢部もなみ[椿昇] / 山下雅己[池田光弘] / Rebecca Drolen(リベッカ・ドローレン)[オサム・ジェームス・中川] / Liliana Guzmán(リアナ・グスマン)[オサム・ジェームス・中川]

AFK Resonance Exhibition会場(臨濟宗大本山 東福寺)：

【ディレクター・アドバイザーボード】池田光弘、薄久保香、大庭大介、大巻伸嗣、オサム・ジェームス・中川、加藤泉、鬼頭健吾、鷹野隆大、田村友一郎、津田道子、椿昇、名和晃平、ミヤケマイ、ヤノベケンジ、Yotta、ロバート・ブラット

【セレクトッドアーティスト for 東福寺】木田陽子、黒川岳、広瀬菜々 & 永谷一馬、米村優人、リュ・ジェユン

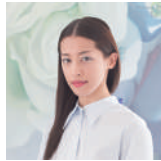
■ディレクター ■アドバイザーボード(16組)：若手を推薦するアーティスト



椿昇



池田光弘
撮影：Mahiro Tsuruda



薄久保香
撮影：Kenshu Shintsubo



大庭大介



大巻伸嗣
撮影：市川勝弘



オサム・ジェームス・中川



加藤泉
撮影：Claire Dorn



鬼頭健吾



笹岡由梨子
撮影：Kuba Celej



鷹野隆大
撮影：山崎美奈



田村友一郎



津田道子
撮影：奥祐司



名和晃平



ミヤケマイ
撮影：Norio Kidera



ヤノベケンジ



Yotta

■セレクトッドアーティスト for 東福寺



ロバート・ブラット



木田陽子
(2022年出品 公募)



黒川岳
(2020年出品
推薦者：金氏徹平)



広瀬菜々 & 永谷一馬
(2019年、2020年出品
推薦者：塩田千春)



米村優人 撮影：大澤一太
(2020年、2024年出品
推薦者：ヤノベケンジ
[2020年]、Yotta[2024年])



リュ・ジェユン
(2024年出品 公募)

■公募選考委員



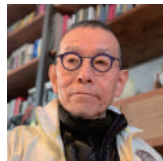
黒澤浩美 | 公益財団法人石川文化振興財団ラビットホール
ディレクター、株式会社ヘラルポニー CAO、東京芸術大学
特任教授
撮影：Yuna Yagi



保坂健二朗 | 滋賀県立美術館
ディレクター (館長)
撮影：木奥恵三



山本浩貴 | 文化研究者、
実践女子大学准教授



椿昇 | 現代美術家、京都芸術
大学教授、ARTISTS' FAIR
KYOTO ディレクター

ARTISTS' FAIR KYOTO 2026 見どころ



「ARTISTS' FAIR KYOTO 2026 マイナビ ART AWARD」授賞式の様子

「ARTISTS' FAIR KYOTO 2026 マイナビ ART AWARD」授賞式

本イベントは、新たな表現に挑むアーティストを顕彰するとともに、その可能性を社会へとひろく場として位置づけられています。授賞式当日は、賞の授与に加え、審査委員による講評を通して、作品の魅力や選定の背景、鑑賞の視点が語られます。フェア開催に先駆けて、注目の作品やアーティストの動向をいち早くキャッチする機会となります。

日時：2026年2月20日(金) 10:30～11:30(開場10:20)

会場：フォーシーズンズホテル京都 4階 ザ・チャペル(京都府京都市東山区妙法院前側町445-3)

観覧料：無料(当日先着順とし、定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。)

URL：<http://artists-fair.kyoto/award/>



来場者とアーティストの直接対話による体験型フェア

AFKは、出品作家と来場者がダイレクトに交流することで完成する、体験型のアートフェアです。作品を「見る」だけでなく、アーティスト本人の言葉や思考、制作の背景に触れながら鑑賞することで、作品との距離が大きく縮まります。対話の中で生まれる理解や共感を通じて、気に入った作品はその場でアーティスト本人から購入することが可能です。作品との出会い、対話、購入までがひとつにつながる、ライブ感あふれる体験こそが、AFKならではの魅力です。



ヤノベケンジ《宇宙猫涅槃像》
「宇宙猫の秘密の島」2025年展示の様子

初登場!ヤノベケンジのSHIP'S CATシリーズ《宇宙猫涅槃像》が東福寺に出現

2025年に埼玉・飯能市に開館した現代美術館「ハイパーミュージアム飯能」のオープニング展で発表され話題を呼んだ、ヤノベケンジによるSHIP'S CATシリーズの《宇宙猫涅槃像》が、臨済宗大本山 東福寺に初登場します。宇宙を旅してきた猫が静かに横たわる姿をかたどった本作は、迷いや執着から解放された安らかな状態を無防備に眠る猫の姿を通して表現しています。内部に足を踏み入れることのできる構造を持ち、日常の喧騒から離れて静けさに身を置くための「場」として構成されており、禅の精神が息づく東福寺の空間と呼応するかたちで、新たな鑑賞体験を生み出します。



Yotta《花子》
臨済宗大本山 東福寺 2025年展示の様子

アートユニットYottaによる巨大作品《花子》に増殖可能な《花子》も登場!

AFKで毎年大きな話題を呼んできた、アートユニットYottaによる巨大彫刻《花子》が、今年も臨済宗大本山 東福寺に登場します。さらに方丈では、《花子》の設計情報を収めたデジタルデータ(NFT)を内包した彫刻作品も展示されます。屋外に設置された巨大作品が放つ圧倒的な存在感と、縄文式土偶や土板などに見られる塑像の技法を参照し、野焼きによる低温焼成によって制作された屋内展示作品。二つの作品を往復することで、彫刻としての《花子》と、思考や設計を内包しながら増殖していく《花子》、その多層的なあり方を体感できる展示となります。

ARTISTS' FAIR KYOTO 2026 見どころ



THE THOUSAND KYOTO 1階 アートギャラリー 大丸京都店 1階四条正面入口横
ショーウィンドウ



京都 蔦屋書店 6F アートウォール Artist-in-Residence 賀茂なす
© 2023 Nacasa & Partners Inc.
all rights reserved.



千歳ギャラリー(ギャラリー2) MtK Contemporary Art

ARTISTS' FAIR KYOTO : SATELLITE 2026

ARTISTS' FAIR KYOTO のコンセプトに共感いただいた企業が、ともに京都から発信するアートシーンを盛り上げるため、ARTISTS' FAIR KYOTOに所縁のあるアーティストをフィーチャーした展覧会を京都市内の各所で開催。京都の街がアートに染まります。

日 程：各会場によって開催期間が異なります。詳細は以下URLをご覧ください。

会 場：THE THOUSAND KYOTO 1階 アートギャラリー、大丸京都店 1階四条正面入口横ショーウィンドウ、京都 蔦屋書店 6F アートウォール、Artist-in-Residence 賀茂なす、千歳ギャラリー(ギャラリー2)、MtK Contemporary Art

入場料：無料

URL : <https://artists-fair.kyoto/events/>

ARTISTS' FAIR KYOTO トークプログラム

臨濟宗大本山 東福寺においてトークプログラムを開催します。詳細は、各プログラムURLをご覧ください。



左：樁昇 中：八重樫文 右：柳生顕代 ©Sarnath Banerjee

マイナビpresents

ARTISTS' FAIR KYOTO 2026 シンポジウム

日 時：2026年2月28日(土) 14:30~15:30 (14:00開場)

登壇者：樁昇 (ARTISTS' FAIR KYOTO ディレクター、京都芸術大学教授)、八重樫文 (立命館大学教授)、柳生顕代 (ARTOTHÈQUE アシスタントディレクター、ARTISTS' FAIR KYOTOプログラムコーディネーター)

会 場：東福寺 大慧殿

参加費：無料

申し込みURL : <https://peatix.com/event/4800690/>



左：ヤノベケンジ 右：安田義崇

安田産業グループpresents

ヤノベケンジ トークショー

日 時：2026年2月20日(金) 14:30~15:30 (14:00開場)

登壇者：ヤノベケンジ (現代美術家)、安田義崇 (安田産業グループ)

会 場：東福寺 大慧殿

参加費：無料

申し込みURL : <https://peatix.com/event/4770210/>



©くるねこ大和

幻冬舎コミックスpresents

漫画家 くるねこ大和と編集者

日 時：2026年2月23日(月・祝) 13:30~14:30 (13:00開場)

登壇者：くるねこ大和 (漫画家)、齋藤至代 (幻冬舎コミックス)、森村繭子 (MC)

会 場：東福寺 大慧殿

参加費：無料

※申し込み受付は終了しています。

ARTISTS' FAIR KYOTO 2026 見どころ

若手批評家育成プロジェクト『歴史・批評・芸術』

本プロジェクトは、日本の現代美術が国際的な評価を得るために、グローバルなレベルでの評価に耐えられる批評を生み出し、国際的に競合しうる高度な批評を執筆する能力をもつ批評家を育成するプロジェクトです。批評家は、3年毎にプロジェクトディレクターとプロジェクトアドバイザーによって2名が選定され、批評家は2名ずつ若手アーティストを選定した上で批評を執筆。その成果は日英バイリンガル書籍として刊行。国内外の美術館やギャラリー、大学、文化機関へ広く届けられます。

あわせて、シンポジウムやレクチャーを通じた普及活動も行っています。今年度は高嶋慈、村上由鶴が執筆を担当。本書の刊行を記念してトークセッションを開催し、参加者は、当日限定で批評書を特別価格2,000円(税込)にて購入いただけます。2月27日(金)以降は、下記URLより定価2,650円(税込)でご購入いただけます。販売部数に限りがございますので予めご了承下さい。 <https://ycassociates.thebase.in/>

プログラムディレクター：千葉由美子 (Yumiko Chiba Associates 代表取締役、若手批評家育成プロジェクトディレクター)

アドバイザー：沢山遼 (美術批評家) / 椿昇 (ARTISTS' FAIR KYOTOディレクター、現代美術作家、京都芸術大学教授) / 山本浩貴 (文化研究者、実践女子大学文学部 美学美術史学科准教授)

会場：東福寺 大慧殿

参加費：無料

申し込みURL：<https://peatix.com/event/4770197/>

主催：D/C/F/A

第1部：2026年2月22日(日) 13:15～14:30(13:05開場) 「制作原理のつくり方」

宇田川直寛は、家を制作の場として親子関係やケアのなかで立ち上がる力学を見つめながら、日常の規範＝「家のやり方」を制作原理として定めている。松原茉莉は、水溶性にプリントした写真を溶かして、触覚的な操作で再構成する「フォト・アブストラクティング」を核に、「存在」の感覚を写真に触れることで探っていく。両者はそれぞれ、制作における条件や前提を自ら設定しながら、「写真とは何か／どう作るか」を実践を通じて問い直している。本セッションでは、その手順と判断の積み重ねを辿る。

登壇者



村上由鶴 (写真研究・美術批評)



宇田川直寛 (写真家)



松原茉莉 (写真家・アーティスト)



沢山遼 (美術批評家)



千葉由美子 (Yumiko Chiba Associates 代表取締役、若手批評家育成プロジェクトディレクター)

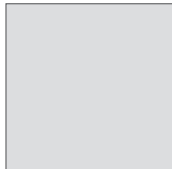
モデレーター

司会

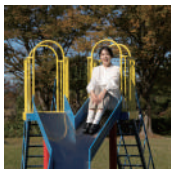
第2部：2026年2月22日(日) 14:40～15:45 「制作論としてのリサーチ」

井上裕加里は、イランとパキスタンで起きた「名誉殺人」の事例を、イスラーム圏のバービー風着せ替え人形を被写体とし、イランの路上で再現的に撮影する。大和楓は、辺野古の米軍新基地建設に対する座り込み抗議や、沖縄戦時に捕虜収容所に収容された人物の姿勢を自らの身体で再現する(あるいは、再現のための装置を制作する)。両者のテーマは異なるが、ともに「リサーチ」がベースにある。本セッションでは、思考・試行の時間としてのリサーチについて議論を深める。

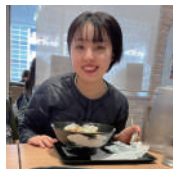
登壇者



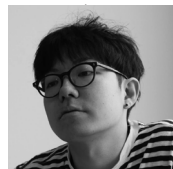
高嶋慈 (美術・舞台芸術批評)



井上裕加里 (アーティスト) photo by Hyogo Mugyuda



大和楓 (アーティスト) photo by Minako Yamato



山本浩貴 (文化研究者、実践女子大学文学部 美学美術史学科准教授)



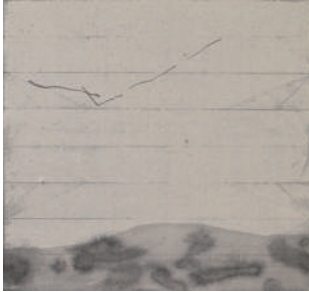
千葉由美子 (Yumiko Chiba Associates 代表取締役、若手批評家育成プロジェクトディレクター)

モデレーター

司会

ARTISTS' FAIR KYOTO 2026 見どころ

ARTISTS' FAIR KYOTO 特別展



品川亮「落雁」

品川亮個展「ひとの多い方へ」

AFK2018、2019への出品経験を持ち、国内外からも注目を集めるアーティスト、品川亮の個展が京都国立博物館 茶室 堪庵で開催されます。本展のテーマは「旅」です。展示は墨絵を中心に、衝立、屏風、障子など、建築とともに発展してきた形態を取り入れた作品によって構成されます。個展会場は、江戸時代初期の京都における公家文化の系譜を受け継ぐ数寄屋造りの茶室であり、抑制された明かりの中では墨の濃淡や滲み、和紙の質感が際立ちます。その不明瞭な輪郭や余白は、旅の途上の感覚や時間の連なりを想起させるとともに、作品の形態からは建築と絵画の歴史的つながりを感じさせます。本展は、個々の作品の鑑賞にとどまらず、展示空間全体を通じて鑑賞者が「旅」をするように移動し、時間と空間の連続性を追う構造的な鑑賞体験を提示するものです。

日 程：2026年2月21日(土)～2月23日(月・祝)

時 間：9:30～17:00(最終入場16:30)

会 場：京都国立博物館 茶室 堪庵

入場料：AFKメイン会場入場料に含まれる

URL : <https://artists-fair.kyoto/events/>



京都国立博物館 茶室 堪庵



展示作品イメージ

本岡景太個展「IMMANENT FOLD：図像と物質の内在的折り目」

「ARTISTS' FAIR KYOTO 2025 マイナビ ART AWARD」にて最優秀賞を受賞したアーティスト、本岡景太による個展が臨済宗大本山 東福寺で開催されます。本岡は、自身の彫刻に絵としての見方があることに注目し、彫刻と絵画の引っ張り合いに制作の尺度を見出すことで、新たな存在の探求につとめてきました。その制作は、色で染めた紙を貼り付け、絵画的な秩序を設定しながら、同時に彫刻の形態を構成するものです。

日 程：2026年2月20日(金)～2026年3月1日(日)

会 場：臨済宗大本山 東福寺 大書院

時 間：9:00～16:00(最終入場15:30)

入場料：AFK Resonance Exhibition入場料に含まれる

URL : <https://artists-fair.kyoto/events/>



スタジオ：shu

OPEN ARTISTS' STUDIO 2026

ARTISTS' FAIR KYOTOの過去出品アーティストも参加するオープンスタジオ企画を開催。アーティストの創作の裏側にスポットを当てて、京都市内6箇所の個性豊かなシェアスタジオを限定公開します。6つのスタジオから31名のアーティストが参加。各スタジオを巡るガイド付きバスツアーも開催します。

日 時：2026年2月21日(土)～2月22日(日) 10:00～18:00

会 場：プログラム参加スタジオ 6 箇所 (吉祥院スタジオ、銀月スタジオ、

ANTI MORAL SCHOOL 京都浄土寺スタジオ、Sfye M.、shu、山ノ外スタジオ)

入場料：全て無料

※ガイド付きバスツアーは申し込み受付を終了しています。

URL : <https://www.pref.kyoto.jp/bungei/artiststudio.html>

ARTISTS' FAIR KYOTO 2026 見どころ

リードパートナーの株式会社マイナビのサポートのもと、新たな取り組みとして、小学生から高校生に向けたプログラムを展開します。

01: マイナビアートクラスー自分だけの好きを作ろうー



彦坂敏昭



笹口数

若手のアーティスト支援を行ってきたARTISTS' FAIR KYOTOにおいて、若い次の世代に向けて、初めての試みとなるプログラム「マイナビアートクラスー自分だけの好きを作ろうー」を開催します。京都芸術大学教授の彦坂敏昭氏と同大学の非常勤講師の笹口数氏の協力のもと、小学生から中学生を対象に作品作りのワークショップを行います。制作した作品は、AFK Resonance Exhibition会場の臨濟宗大本山 東福寺 庫裡にて、第一線で活躍するアーティストの作品と共に展示されます。

■実施概要

日 程：2026年2月21日(土)～2月23日(月・祝)

時 間：10:00～12:00

会 場：京都国立博物館 技術資料参考館2階

参加対象：小学生から中学生(各日実施人数10～15名程度)

講 師：彦坂敏昭、笹口数

■作品展示概要

展示日時：2026年2月21日(土)～3月1日(日)

展示場所：臨濟宗大本山 東福寺 庫裡

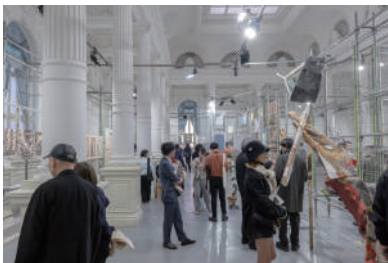
協 賛：株式会社マイナビ

協 力：学校法人立命館、NLCS Kobe、学校法人 瓜生山学園 京都芸術大学



展示会場となる、臨濟宗大本山 東福寺(方丈)
2025年の様子

02: マイナビアートチョイスー自分だけの好きを探ろうー



内覧会場となる、京都国立博物館 明治古都館
2025年の様子

リードパートナーの株式会社マイナビ協力のもと、開催されてきた「ARTISTS' FAIR KYOTO マイナビART AWARD」は5回目を迎え、次の世代に向けた新たな試みとして「マイナビアートチョイスー自分だけの好きを探ろうー」を開催します。京都芸術大学教授の彦坂敏昭氏と同大学の非常勤講師の笹口数氏の協力のもと、小学生から高校生を対象にAFK2026の展示を内覧し、好きな作品を見つけるワークショップを行います。内覧後、各年代ごとにディベートを行い、参加者による最優秀賞作品を決定します。選ばれた作品は、AFK Resonance Exhibition会場の臨濟宗大本山 東福寺 庫裡にて、瓦版を作成し掲示するとともに、AFKの公式ウェブサイト上发表します。

■実施概要

日 程：2026年2月21日(土)～2月23日(月・祝)

時 間：14:00～16:00

会 場：京都国立博物館 技術資料参考館2階

参加対象：小学生から高校生(各日実施人数10～15名程度)

講 師：彦坂敏昭、笹口数

■瓦版掲示概要

展示日時：2026年2月21日(土)～3月1日(日)

展示場所：臨濟宗大本山 東福寺 庫裡

協 賛：株式会社マイナビ

協 力：学校法人立命館、学校法人 瓜生山学園 京都芸術大学

開催概要

ARTISTS' FAIR KYOTO 2026

メイン会場

会場： 京都国立博物館 明治古都館 (京都市東山区茶屋町527)
日程： 2026年2月21日(土)～2月23日(月・祝)
時間： 9:30～17:00(最終入場16:30)

AFK Resonance Exhibition会場

会場： 臨濟宗大本山 東福寺 (京都市東山区本町15丁目778)
日程： 2026年2月21日(土)～3月1日(日)
時間： 9:00～16:00(最終入場15:30)

チケット	チケット種別	対象/会場	価格/販売期間・備考
	フリーパス	AFK全会場共通	2,000円 事前・オンラインのみ販売。2月20日(金)23:59まで
	当日単館券	京都国立博物館 明治古都館	一般1,800円/大学生900円(要・学生証)
		臨濟宗大本山 東福寺(方丈/通天橋)	一般・大学・高校：1,000円 小学・中学：500円

※チケットのご提示で、京都国立博物館 平成知新館の名品ギャラリー(平常展示)を無料でご観覧いただけます。
※京都国立博物館は高校生以下無料(要・学生証)
※未就学児は無料(要保護者同伴)
※障がい者手帳等を御提示の方と付き添い1名までは無料

URL： <https://artists-fair.kyoto/>

お問い合わせ： ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会事務局 TEL： 0120-221-884 (10:00～17:00)

主催： 京都府、京都新聞、ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会
後援： 経済産業省、文化庁、京都商工会議所、一般社団法人京都経済同友会
特別協力： 臨濟宗大本山 東福寺



京都国立博物館 明治古都館



臨濟宗大本山 東福寺